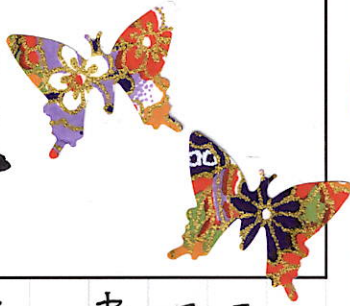




蝶はあげは丸



Happy

家紋

Come on

新聞

みなさんは自分の家の家紋を知っていますか？私の家の家紋は、蝶丸にあげは蝶丸と言っています。とて家紋は家のシンボルマークとして、平安時代から使用されてきたそうです。家紋と苗字は家のルーツや歴史がわかるヒントになると言われています。決松のおじいちゃんに聞いてみると、大昔は豪族だったらしいぞと言っていました。ビッリしました。今はふつうの農家で、すがご先祖様は時代劇に出てくるような人だったのかもしれないと思います。長い歴史を感じてふしぎな気持ちになりました。くわしい資料や言い伝えやお宝は見つからなかったけれど、家紋だけは代々伝わっているようです。

先日、吉田城に行つてご朱印をもらったら、うちと同じ丸にあげは蝶の家紋だったのど、とてもおどろきました。調べたら吉田城の城主だった池田輝政の家紋でした。苗字はちがうけど同じ家紋を使用するところもあるようです。もしかしたら同じ一門と分かったかもしれません。



続日本百名城



自然にある月や星、昆虫や植物や動物などがモチーフに使用されています。幾何学模様もあります。家紋が使われている所は五三や結婚式の着物、お墓や仏壇、おひな様や五月人形などです。

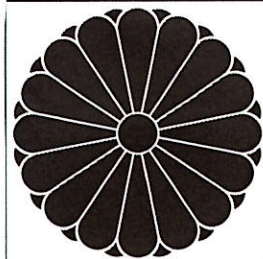
家紋の種類デザイン



徳川家康
「徳川」



織田信長
「織田」



室八重
「十六」



明智光秀
「丸にたちばな」
おばあちゃんの家(秋野)

有名な家紋



発行者

庵原 凜音

豊橋市立二川小学校六年

私がよく遊びに行く二川本陣の家紋は本陣を経営していた馬場家のものので「丸にくぎ坂」です。



▲瓦にも使用されています。正面玄関のサ幕に使用されている家紋は吉田城最後の城主松平伊豆守の紋で「三蝶陣祭りのお殿様役の人物です。本陣祭りのお殿様役の人物です。本



編集後記

家紋は何百年も使われていて長い歴史があることがわかりました。

私も自分の子孫のために家系図を書いたり、家紋を大切に伝えていきたいと思いました。

みなさんも自分の家紋を調べてルーツをたどってみたいです。家族のきずなが強くなる気がします。